

## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東  
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長兼経営企画室長 (氏名) 南 耕平 TEL 011-721-4311  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	37,165	2.5	1,067	△45.2	1,126	△45.6	707	△40.3
2025年3月期	36,249	6.6	1,948	7.4	2,070	4.4	1,184	14.8

（注）包括利益 2026年3月期 864百万円（△36.1%） 2025年3月期 1,352百万円（△5.5%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	47.69	—	4.3	3.3	2.9
2025年3月期	79.84	—	7.5	7.1	5.4

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	36,831	19,692	45.7	1,135.88
2025年3月期	31,388	19,094	51.8	1,096.30

（参考）自己資本 2026年3月期 16,848百万円 2025年3月期 16,261百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,368	△5,315	4,959	4,757
2025年3月期	1,408	△3,928	2,400	3,744

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00	237	19.6	1.5
2026年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	207	29.4	1.3
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	14.00	14.00		32.3	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	20,000	3.7	1,050	1.2	1,100	1.3	530	△19.8	35.73
通期	39,000	4.9	1,300	21.8	1,285	14.0	643	△9.1	43.37

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2026年3月期	15,180,000株	2025年3月期	15,180,000株
2026年3月期	347,365株	2025年3月期	347,321株
2026年3月期	14,832,652株	2025年3月期	14,832,679株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,094	△7.6	636	△17.2	821	△13.9	579	△14.4
2025年3月期	12,004	11.5	768	53.1	954	35.5	676	33.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	39.07	—
2025年3月期	45.64	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2026年3月期	13,307	85.1	11,327	85.1	11,327	85.1	763.67	
2025年3月期	13,446	80.8	10,867	80.8	10,867	80.8	732.70	

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,327百万円 2025年3月期 10,867百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、決算短信 (添付資料) P. 4 「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報の注記) .....	16
(重要な後発事象の注記) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、長引く物価上昇の中、雇用環境や個人所得の改善を背景に緩やかな回復が見られたものの、米国を中心とした各国の通商政策の影響拡大等により、景気や物価等の先行きについて不透明な状況が続いております。加えて、中東情勢の緊迫化が継続し、原油・エネルギー価格の変動や物流面の不確実性の高まり等を通じて、原材料コスト及び物流コストへの影響が懸念される状況となりました。

住宅業界におきましては、円安による原材料コストの高騰に加え、職人不足や資材価格の高止まりによる住宅価格の上昇が消費マインドを低下させているものと考えております。また、昨今の金利上昇局面における先行き不透明感も住宅取得意欲に影響を及ぼしているものと考えております。さらに、建築基準法及び建築物省エネ法改正への対応も背景に、新設住宅着工戸数は低調に推移しており、依然として先行きは極めて不透明で厳しい経営環境であると考えております。

このような状況のもと、当社グループでは、卸売事業における新商品開発と新たな調達ルート開拓による販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。一方で、小売事業におけるジョイフルエーカー釧路店の開業費用の発生と、賃上げ等に伴う人件費の増加など販売費及び一般管理費が増加したことにより、利益が押し下げられました。

これらの結果、売上高371億65百万円（前連結会計年度比2.5%増）、営業利益10億67百万円（同45.2%減）、経常利益11億26百万円（同45.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益7億7百万円（同40.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （卸売事業）

2025年度3月累計の全国における新設住宅着工戸数は711,171戸（前年同月比12.8%減）、当社の主力市場である北海道では22,182戸（同26.6%減）と依然低水準で推移しております。その中で当社の業績に大きく影響を及ぼす持家につきましても、全国で195,111戸（前年同月比12.5%減）、北海道で6,960戸（同17.2%減）と依然低水準で推移しております。

このような状況のもと、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気関連商品を中心とした販売強化と適正価格による販売に努めてまいりました。一方で、円安や中東情勢等を背景とした原材料・物流コストの変動に加え、システム投資等による経費増加が利益を押し下げる要因となりました。これらの結果、売上高95億47百万円（前連結会計年度比6.5%減）、営業利益5億61百万円（同23.2%減）となりました。

#### （小売事業）

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上と接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりました。7月にジョイフルエーカー釧路店を開業し明るい話題となった一方、同店の開業費用に加え、既存店における賃上げを含めた販売費及び一般管理費の増加等により利益面では押し下げ要因となりました。これらの結果、売上高241億35百万円（前連結会計年度比8.3%増）、営業利益64百万円（同93.4%減）となりました。

#### （不動産事業）

賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けております。加えて、分譲マンション「ザ・札幌タワーズ」の販売代金の計上が継続したことにより収益に大きく寄与いたしました。これらの結果、売上高13億74百万円（前連結会計年度比10.6%減）、営業利益7億48百万円（同13.9%増）となりました。

#### （足場レンタル事業）

中・高層建築向け次世代足場資材の投入等により受注は堅調に推移する中、業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めてまいりました。一方で、資材購入関連費用等の影響により収益が伸び悩みました。これらの結果、売上高7億75百万円（前連結会計年度比1.9%増）、営業損失0百万円（前連結会計年度は営業損失20百万円）となりました。

#### （サッシ・ガラス施工事業）

賃貸物件や大型施設等の受注が好調な中、工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めてまいりました。これらの結果、売上高13億31百万円（前連結会計年度比7.8%減）、営業利益1億53百万円（同3.3%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は139億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億95百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が10億13百万円、商品が9億48百万円それぞれ増加したことと、売上債権が10億44百万円減少したことによるものであります。固定資産は229億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億47百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が39億46百万円、投資有価証券が1億56百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は368億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億42百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は69億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億12百万円減少いたしました。これは主に買入債務が4億60百万円、短期借入金が1億88百万円、未払法人税等が3億8百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は102億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億57百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が54億40百万円、資産除去債務が2億68百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は171億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億44百万円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は196億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億97百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は45.7%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当連結会計年度末には47億57百万円となり、前連結会計年度末より10億13百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果による資金の増加は13億68百万円（前連結会計年度は14億8百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が10億77百万円、減価償却費が13億67百万円、売上債権の減少が10億50百万円及び法人税等の支払額7億88百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果による資金の減少は53億15百万円（前連結会計年度は39億28百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出51億45百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果による資金の増加は49億59百万円（前連結会計年度は24億円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入62億円、長期借入金の返済による支出8億60百万円、配当金の支払額2億36百万円等によるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中東情勢の深刻化など、地政学リスクに起因した資源価格の高騰・高止まり、ならびに物流面の不確実性等により、世界経済の先行きについては予断を許さない状況で推移するものと思われま  
す。また、各国の通商政策の動向や金融政策の変化等も、景気や物価に影響を及ぼす可能性があり、引き続き注  
視が必要であります。一方、国内においては、人口減少による市場規模の縮小、少子高齢化による労働力不足に  
加え、昨今の金利上昇局面における先行き不透明感等もあり、依然として厳しい経営環境が続くものと予想され  
ます。

各事業別分野における施策は以下のとおりです。

卸売事業においては、住宅着工戸数は引き続き低水準での推移が予想され、人口減少が進む国内では住宅需要  
の低迷は避けられず、原材料価格やエネルギー資源価格の変動、物流費の動向等も含めコスト面で厳しい状況が  
続くものと見込んでおります。このような環境において、当社独自の開発商品を中心に販路拡大・売上増強に注  
力した営業活動を進めるとともに、収益確保に向けて販売費及び一般管理費の適正化にも取り組んでまいりま  
す。

小売事業においては、本州系大型店の出店や業態を超えた販売競争もあり、厳しい経営環境が続くものと思わ  
れます。このような環境において、お客様へ価値あるサービスを提供し、リアル店舗の強みを生かして売場の進  
化を図り、すべての部門でお客様からの要望にお応えできる専門知識の提供に努めます。あわせて、既存店の売  
上回復に向けた施策の推進により収益力の改善を図るとともに、前期に発生したジョイフルエーカー釧路店の開  
業関連費用の一巡を見込みつつ、賃上げ等を含むコスト増への対応を進めてまいります。

不動産事業においては、不動産動向の情報収集を行うとともに、所有不動産を活性化させて収益確保を目指し  
てまいります。なお、分譲マンション「ザ・札幌タワーズ」の販売代金については、次期も引き渡し状況を踏ま  
え適切に計上してまいります。

足場レンタル事業においては、戸建住宅向けから中高層向け足場施工への営業戦略上のシフトにより、幅広い  
お客様へ安心・安全を提供し更なる事業拡大に努めてまいります。また、施工の標準化と技術指導、安全パト  
ロールを強化して施工力の向上を図ります。

サッシ・ガラス施工事業においては、キムラグループとしてのシナジー効果を十分に発揮し、業容拡大を図っ  
てまいります。

以上により次期の業績見通しは、売上高390億円（当連結会計年度比4.9%増）、営業利益13億円（同21.8%  
増）、経常利益12億85百万円（同14.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億43百万円（同9.1%減）の  
見込みであります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業  
績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸  
表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動  
向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,759,238	4,772,845
受取手形、売掛金及び契約資産	2,986,738	1,884,872
電子記録債権	281,789	339,317
商品	4,819,133	5,767,342
販売用不動産	233,900	508,997
仕掛販売用不動産	310,033	7,302
その他の棚卸資産	28,217	14,125
その他	308,692	628,511
貸倒引当金	△1,863	△1,739
流動資産合計	12,725,881	13,921,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,336,775	14,037,681
土地	2,973,700	2,998,980
賃貸用建物（純額）	497,203	469,498
賃貸用その他資産（純額）	16,786	12,530
賃貸用土地	1,452,416	1,452,416
リース資産（純額）	68,502	137,329
建設仮勘定	1,138,538	5,186
その他（純額）	563,982	880,542
有形固定資産合計	16,047,906	19,994,165
無形固定資産		
その他	369,140	439,009
無形固定資産合計	369,140	439,009
投資その他の資産		
投資有価証券	1,033,398	1,189,960
長期貸付金	10,817	14,278
繰延税金資産	623,577	705,710
その他	582,352	571,480
貸倒引当金	△4,688	△4,979
投資その他の資産合計	2,245,457	2,476,450
固定資産合計	18,662,504	22,909,626
資産合計	31,388,386	36,831,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,262	1,627,848
電子記録債務	471,215	151,450
短期借入金	3,998,200	3,810,000
リース債務	16,234	29,703
未払法人税等	456,399	147,642
賞与引当金	235,506	233,662
その他	981,433	914,297
流動負債合計	7,927,251	6,914,605
固定負債		
長期借入金	2,542,500	7,982,500
リース債務	51,239	106,924
繰延税金負債	121,732	176,071
再評価に係る繰延税金負債	169,140	169,140
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	357,178	363,474
資産除去債務	598,980	867,617
その他	496,432	529,019
固定負債合計	4,366,215	10,223,758
負債合計	12,293,466	17,138,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	14,265,433	14,735,442
自己株式	△133,042	△133,065
株主資本合計	15,760,167	16,230,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	424,111	541,284
土地再評価差額金	76,722	76,722
その他の包括利益累計額合計	500,833	618,006
非支配株主持分	2,833,918	2,844,677
純資産合計	19,094,919	19,692,838
負債純資産合計	31,388,386	36,831,202

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	36,249,862	37,165,333
売上原価	25,367,060	25,940,665
売上総利益	10,882,801	11,224,667
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	276,089	262,573
従業員給料及び賞与	3,742,092	4,138,430
賞与引当金繰入額	232,611	230,508
退職給付費用	58,531	43,844
減価償却費	810,229	1,144,712
その他	3,814,724	4,337,266
販売費及び一般管理費合計	8,934,279	10,157,336
営業利益	1,948,522	1,067,331
営業外収益		
受取利息	2,421	3,295
受取配当金	30,960	37,935
仕入割引	64,293	59,421
その他	59,770	64,186
営業外収益合計	157,446	164,838
営業外費用		
支払利息	26,728	98,870
支払補償費	5,688	—
その他	3,307	6,470
営業外費用合計	35,724	105,340
経常利益	2,070,244	1,126,829
特別利益		
固定資産売却益	4,164	—
特別利益合計	4,164	—
特別損失		
減損損失	—	47,194
固定資産除売却損	126	2,548
特別損失合計	126	49,742
税金等調整前当期純利益	2,074,282	1,077,086
法人税、住民税及び事業税	754,048	410,774
法人税等調整額	△75,869	△81,179
法人税等合計	678,179	329,595
当期純利益	1,396,103	747,491
非支配株主に帰属する当期純利益	211,891	40,158
親会社株主に帰属する当期純利益	1,184,211	707,332

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
当期純利益	1,396,103	747,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,850	117,172
土地再評価差額金	△4,863	—
その他の包括利益合計	△43,713	117,172
包括利益	1,352,389	864,664
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	1,140,498	824,505
非支配株主に係る包括利益	211,891	40,158

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,427	13,288,878	△133,042	14,783,612
当期変動額					
剰余金の配当			△207,657		△207,657
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,184,211		1,184,211
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	976,554	—	976,554
当期末残高	793,350	834,427	14,265,433	△133,042	15,760,167

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	462,961	81,585	544,547	2,657,306	17,985,467
当期変動額					
剰余金の配当					△207,657
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,184,211
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△38,850	△4,863	△43,713	176,611	132,897
当期変動額合計	△38,850	△4,863	△43,713	176,611	1,109,452
当期末残高	424,111	76,722	500,833	2,833,918	19,094,919

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,427	14,265,433	△133,042	15,760,167
当期変動額					
剰余金の配当			△237,322		△237,322
親会社株主に帰属する 当期純利益			707,332		707,332
自己株式の取得				△22	△22
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	470,009	△22	469,987
当期末残高	793,350	834,427	14,735,442	△133,065	16,230,154

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	424,111	76,722	500,833	2,833,918	19,094,919
当期変動額					
剰余金の配当					△237,322
親会社株主に帰属する 当期純利益					707,332
自己株式の取得					△22
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	117,172		117,172	10,758	127,931
当期変動額合計	117,172	—	117,172	10,758	597,919
当期末残高	541,284	76,722	618,006	2,844,677	19,692,838

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,074,282	1,077,086
減価償却費	1,055,488	1,367,391
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26,561	△1,844
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△322	167
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,689	6,295
受取利息及び受取配当金	△33,382	△41,231
支払利息	26,728	98,870
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△4,037	2,548
減損損失	—	47,194
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,074,928	1,050,180
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△550,941	△906,483
その他の資産の増減額 (△は増加)	141,937	△84,872
仕入債務の増減額 (△は減少)	334,542	△460,178
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△362,041	△117,589
その他の負債の増減額 (△は減少)	302,708	178,613
小計	1,954,283	2,216,149
利息及び配当金の受取額	33,378	41,213
利息の支払額	△24,647	△100,003
法人税等の支払額	△554,213	△788,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,408,800	1,368,654
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△593	△374
有形固定資産の取得による支出	△3,870,294	△5,145,865
有形固定資産の売却による収入	28,110	—
無形固定資産の取得による支出	△76,295	△178,206
投資有価証券の取得による支出	△9,829	△6,005
投資有価証券の償還による収入	—	20,000
貸付けによる支出	—	△5,700
貸付金の回収による収入	263	799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,928,639	△5,315,352
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,148,200	△88,200
長期借入れによる収入	2,300,000	6,200,000
長期借入金の返済による支出	△787,500	△860,000
配当金の支払額	△207,618	△236,198
非支配株主への配当金の支払額	△35,280	△29,400
リース債務の返済による支出	△17,619	△26,265
自己株式の取得による支出	—	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,400,182	4,959,914
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△119,656	1,013,215
現金及び現金同等物の期首残高	3,864,043	3,744,387
現金及び現金同等物の期末残高	3,744,387	4,757,603

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「卸売事業」、「小売事業」、「不動産事業」、「足場レンタル事業」及び「サッシ・ガラス施工事業」の5つを報告セグメントとしております。

「卸売事業」は、住宅用資材及びビル用資材等の販売を行っております。「小売事業」は、建築資材、DIY用品、日用雑貨等の販売を行うホームセンターを運営しております。「不動産事業」は、不動産の賃貸及び販売を行っております。「足場レンタル事業」は、建築足場のレンタルを行っております。「サッシ・ガラス施工事業」は、アルミサッシなどのガラス製品の販売、加工及び施工を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	10,210,544	22,295,748	1,121,114	761,035	1,444,080	35,832,524
その他の収益	—	—	417,338	—	—	417,338
外部顧客への売上高	10,210,544	22,295,748	1,538,452	761,035	1,444,080	36,249,862
セグメント間の 内部売上高又は振替高	405,910	2,353	37,080	1,743	3,185	450,271
計	10,616,454	22,298,101	1,575,532	762,778	1,447,265	36,700,134
セグメント利益又は損失 (△)	730,727	967,171	656,827	△20,411	158,610	2,492,925
セグメント資産	3,610,977	18,077,430	4,467,454	838,868	982,727	27,977,458
その他の項目						
減価償却費	66,369	713,490	115,490	134,884	11,611	1,041,846
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	601,444	3,765,136	26,526	83,875	5,413	4,482,396

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	9,547,902	24,135,452	889,065	775,354	1,331,821	36,679,597
その他の収益	—	—	485,735	—	—	485,735
外部顧客への売上高	9,547,902	24,135,452	1,374,801	775,354	1,331,821	37,165,333
セグメント間の 内部売上高又は振替高	427,382	1,598	37,080	1,225	88,109	555,395
計	9,975,284	24,137,051	1,411,881	776,579	1,419,930	37,720,728
セグメント利益又は損失 (△)	561,524	64,090	748,178	△905	153,437	1,526,325
セグメント資産	3,485,323	23,735,535	3,428,031	826,954	971,029	32,446,875
その他の項目						
減価償却費	92,565	1,036,949	111,179	103,682	12,034	1,356,411
減損損失	—	47,194	—	—	—	47,194
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	79,165	6,341,337	7,940	55,546	4,322	6,488,313

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	36,700,134	37,720,728
セグメント間取引消去	△450,271	△555,395
連結財務諸表の売上高	36,249,862	37,165,333

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,492,925	1,526,325
セグメント間取引消去	△2,248	△1,676
全社費用 (注)	△542,155	△457,317
連結財務諸表の営業利益	1,948,522	1,067,331

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	27,977,458	32,446,875
本社管理部門に対する債権の相殺消去	△252,424	△249,111
全社資産 (注)	3,663,351	4,633,438
連結財務諸表の資産合計	31,388,386	36,831,202

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券及び有形固定資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,041,846	1,356,411	13,642	10,980	1,055,488	1,367,391
特別損失	—	47,194	—	—	—	47,194
(減損損失)	—	47,194	—	—	—	47,194
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,482,396	6,488,313	18,157	—	4,500,554	6,488,313

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	全社・消去	合計
減損損失	—	47,194	—	—	—	—	47,194

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,096.30円	1,135.88円
1株当たり当期純利益	79.84円	47.69円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,184,211	707,332
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,184,211	707,332
期中平均株式数 (株)	14,832,679	14,832,652

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。